



FUKUSHIMAものづくり 企業ファイル(No.10)

このコーナーでは、福島市に立地しているものづくり企業の知られざる魅力にスポットをあて、紹介します。

今回は「東開工業(株)」さんです。



▲工場での橋桁製作。確かなものづくりで、社会インフラを支えています。

【会社概要】

所在地：福島市佐倉下
(佐倉西工業団地)

代表者：高野 次郎

設立：昭和37年3月

資本金：1億5,000万円

社員数：130人

営業品目：橋梁、水管橋、水門、水圧鉄管、除塵機、クレーン

連絡先：593-4020(総務部)

■問／企業立地課 ☎525-3723

クローズアップ

👉 どんなものをつくっているの？

地域の生活に根づいたインフラの要となる製品づくりをしています。その誇りを胸に、社員一丸となり取り組んでいます。



▲インタビューに答えていただいた高野代表取締役



◀ 橋梁の設計から構造物の製造、現場据え付け工事に至るまで一貫して行います。

くらしを支える社会インフラのスペシャリスト

東開工業株式会社



We Love♥ ふくしま!

第33回『師走雑感』

はや師走。

復興五輪と朝ドラ「エール」への期待に胸を膨らませ、年頭を迎えたものの、新型コロナに翻弄された1年になってしまった気がします。

寒が進む中、新型コロナが三たび勢いを増してきました。寒くても換気が大事。室内の2カ所を開け、空気を押し流すように換気して下さい。換気を良くすると、乾燥によって粘膜が感染しやすくなるので、湿度も保つようにしましょう。

師走の風物詩といえば、忘年会やクリスマス。普段なら大勢集まり、バカ騒ぎをしたりして、その年の憂さを晴らします。今年は3密の場はもちろん、大人数や長時間の飲食、大声の発声はできる限り避けましょう。

積もるはストレス。私は、毎朝エアロバイクで汗を流し、夜はおいしいお酒を飲み、たまには温泉に行き何度も湯に浸

かって、ストレスを解消しています。どこか野外に公設発声場を設けて、大声を出してもらうのも面白いかもしれません。

一方、コロナ禍の中、芽生え育ってきたものもあります。朝ドラ「エール」が国民的共感を呼び、「古関裕而」への関心も大きく高まりました。紅白歌合戦の紅組司会は、「エール」のヒロイン二階堂ふみさん。エール関係者が古関メロディで励ましの歌合戦を繰り広げてくれるだろうと想像すると、ワクワクします。

ICT化も格段に進化しようとしています。2年前までICT機器がほとんどなかった本市の学校に、今年度中に一人一台のタブレットが配備され、来年度にはタブレットで宿題ができるようになる、と誰が想像できたでしょう。

この1年を振り返りながら、コロナ禍でも、いやコロナ禍だからこそ、前向きに取り組めることを見出し、スタートしましょう。

来年こそは素晴らしい年になりますように！皆さんにエールを送ります。

福島市長 こはた ひろし 木幡 浩